

報告 令和3年度とみさと協働塾 講演会
「ともに笑顔になれる地域づくり」

日 時：令和4年1月22日（土）13：30～15：30
会 場：富里市役所すこやかセンター2階 会議室1.2
講 師：野老 真理子氏（大里綜合管理(株)代表取締役会長）
会 場：富里市役所すこやかセンター2階会議室1.2
参加者：31人（会場25人／オンライン6人）

「とみさと協働塾」は様々な主体がお互いに手をつなぎ、一緒にまちづくりを推進するきっかけになることを目的としています。講師の野老さんは社員と共に、300以上の地域活動に取り組んでいますが、そのきっかけや思いについて話していただきました。目の前にいる人の気持ちに寄り添う、気づいたことをどうやって変えていくか、多様な働き方をみんなが認める、などを日々考え続けているそうです。野老さんが地元地域だけでなく、災害支援や環境問題など社会全体を見据えて行動に移しているというお話に、参加者も熱心に聞き入っていました。



講師の野老氏



参加者の様子
(会場・オンライン)



《参加者の声》 ※一部抜粋

- ・説得力のある有意義な講演でした。気付いた事を変えていく努力や工夫することを真剣に取り組む動きが必要だと思う。
- ・企業がこれ程までして地域活動をしているとは…おどろきいっぱいでも聞かせていただきました。我々でできることがたくさんありそうだ。
- ・笑顔になれる地域づくりは自分から行動することだとわかりました。他にも心に残る言葉をお聞きすることが出来て有意義な時間になりました。
- ・他人が何を求め、何を必要としているのかを考え、それに向き合う事によって人と人がつながり、大きな力となっていくのだと思った
- ・だれでも参加できる場所づくり。場所提供者との連携を考えていきたい。
- ・私は仕事として地域のみなさんの協力が必要です。いろいろなことに迷った時、「自分に出来ることは何か」を考えるようにしています。自分の力は足りなくても、他の人々の力に元気や勇気もらって続けていますが、野老さんのお話は、コロナ禍なので、更に力になりました。人間はどこまでも優しくしていいんですね！子どもたちの生きる力もつけさせたいと思いました。

《講座実施の成果》

- ・講師の力強いお話を聞き、地域づくり活動に取り組んでいこうという気持ちになった。
- ・市民が他団体や事業者との地域づくり活動の連携について関心を持ち、何かやってみようと思える機会になった。